



(損保版)

第1～4月曜日発行
発行所 新日本保険新聞社
大阪市西区靱本町1丁目5-15
(郵便番号550-0004)
電話 (06) 6225-0550 (代表)
FAX (06) 6225-0551 (専用)
購読料 1か月2160円
(消費税、送料込み)

©新日本保険新聞社 2015

シンニチ保険Web

www.shinnihon-ins.co.jp

購読者専用サイトのパスワード

bluseed

(2015年12月31日まで)

※「1月」と「7月」に変更します。

春秋

日本生命のアンケート調査(敬老の日とその後・相続)についてによると、老後に対して不安を感じている人は58.5%。特に30～50代では6割超える。その不安の要因の第一位は「老後の資金」(27.1%)で、他の要因を圧倒する。

損保代理店の中には国民年金のみという方も結構いよう。この10月、日本代協では全国一斉に「国民年金基金加入推進キャンペーン」を実施し、会員等に国民年金基金への新規加入や増口を呼びかけている。同基金には代協会員だけでなく一般代

理店を含め、国民年金に加入し保険料を納めている人で代理業を営んでいる人(従業員を含む)やその家族であれば誰でも加入できる。大阪代協においても、会員向け広報誌(「大阪代協だよりWEB版」10月号)で大々的に紹介し、普及推進

ゆとりある老後資金の準備を

を図っている。その中で、同代協・年金基金委員会の辻本壽雄委員長は「老後の生活資金として年金は心強いものだ。しかし、国民年金だけでは将来に不安を感じる。日本年金機構から送られてくる年金定期便の金額を見ればそれは明らかだ。国民年金

基金からの上乗せ年金は、その不安を払拭する一助になることは間違いない」と強調。また、実際に年金を受給している代理店の声を掲載し、国民年金基金が加入者に与える安心感やメリットを紹介している。

冒頭の調査では、「ゆとりある老後生活に必要な1か月あたりの生活費」についても尋ねている。夫婦2人で「30～34万円」と答えた人は30.8%、これに「35万円以上」の36.0%を加えると66.8%が30万円以上を望む。国民年金だけでは満額でも1人当たり6万5000円程度に過ぎない。ゆとりある老後生活を送るためにも若いうちからしっかりと準備しておきたい。(一筆)